

# 3 住民おすすめ情報

## 伝統芸能

おすすめの  
ポイント

川口地区には八王子市の指定無形民俗文化財に指定されている獅子舞をはじめとして、後世に伝えたい貴重な伝統芸能が受け継がれています。



### やまいり ささら 山入の籠獅子舞

江戸時代の中ごろに始まったと伝えられ、日枝神社と琴平神社で奉納されます。元々、美山町周辺が「山入」という地名だったため、山入の籠獅子舞と言われています。全5時間<sup>ささら</sup>の舞で、花笠の籠摺りとの合奏が特徴です。

→ P27 日枝神社

- 開催場所: 日枝神社(美山町245-1)  
美山中央児童遊園(美山町1851-2)
- 開催日: 4月の第2日曜日
- 保持団体: 美山町籠獅子舞保存会

### 今熊神社の獅子舞

貞治3年(1364年)に正福寺の別当重円法師が、娯楽のために村人に舞を教えたのが始まりと言われています。五穀豊穰、悪魔退散、無病息災を祈願し、三庭構成で奉納されます。より高く、より低く、躍動感あふれる激しい舞が特徴です。

→ P26 今熊神社

- 開催場所: 正福寺(上川町377)  
今熊神社(上川町230)
- 開催日: 8月の最終日曜日
- 保持団体: 今熊神社獅子舞保存会  
(<https://www.facebook.com/Imakuma.Shishimai/>)



## 継承の取組

### 美山町籠獅子舞保存会

保存会では、舞の上達と後継者育成に励み、町内の祭礼行事等に出演しているほか、各地のイベントにも招かれて舞を披露しています。また、獅子頭その他諸器具の管理保全にあたっています。

### 今熊神社獅子舞保存会

地域の小学生に獅子舞を教えているほか、自治会館での篠笛の練習や、地域学習の授業に出張して、獅子舞を紹介するなど、地域全体で今熊神社獅子舞の保存につとめています。

知ってほしい!

獅子舞はその地域の五穀豊穡、雨乞い、悪魔退散などを祈願して舞われます。祭囃子も地域の親子を中心に継承されている、貴重な伝統芸能です。どの伝統芸能にも、担い手不足という共通の課題がありますが、保存会を立ち上げて後継者育成に力を入れています。まずは神社のお祭りなどに獅子舞を見に行ってみてはいかがでしょうか。



## 田守神社の獅子舞

伝承では、江戸時代後期の文化年間(1804年~1818年)に始められたと伝えられています。別名雨乞い獅子ともいわれ、激しく舞うことで龍神を怒らせて雨を呼ぶもので、なかでも雌獅子を奪い合うあばれ獅子が見ものです。豊作を祈るために舞われています。

- 開催場所: 田守神社(上川町1208)
- 開催日: 8月の最終日曜日
- 保持団体: 田守神社獅子舞保存会

## 犬目のお囃子

東京下町の祭囃子である「神田囃子」を源流とし、犬目には大正時代に伝わりました。戦後の復興時には、浅草でも上演したほど有名であったと伝えられています。戦前戦後で中断されましたが、陶鎔小学校開校100年を機に再開され、現在では犬目町民祭で奉納されています。

- 開催場所: 陶鎔小学校(犬目町56)
- 開催日: 7月の最終土・日曜日
- 保持団体: 犬目囃子連

### 田守神社獅子舞保存会

市の「伝統文化ふれあい事業 民俗芸能講座」での講座実施や、J:COMホール八王子などでの演目の披露・展示、ワークショップなどを実施しています。また、上川口小学校の運動会で披露される「上川子ども獅子」にも協力しており、若い世代への継承に取り組んでいます。

### 犬目囃子連

昭和40年(1965年)、後継者不足により一時中断されましたが、昭和52年(1977年)、町内の小学校行事をきっかけに、地域住民が親・子・孫の三代で継承しています。現在も地域の祭、学校、神社などで公演しています。